



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県南相木村祝平
緯度・経度：北緯 36 度 2 分 39.9 秒
東経 138 度 32 分 9.0 秒
伝承形式：石碑・石塔・石仏
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：1824 年（文政 7 年）9 月 7 日
建立時期：1831 年（天保 2 年）9 月
指定等：なし
周辺地形：山地・丘陵



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

木村・高橋両氏は大洪水の見分で村を廻り、村を救うため普請の実現に最大限の努力をしました。その功績から、「木村・高橋両大明神」の石宮が村中の氏子によって建立され、川除守護の霊神として祀られるようになりました。

周辺案内

四季の色と香り水と緑のハーモニーが、心と身体をリフレッシュさせてくれます。豊富な水量と澄んだ水は南相木ならではの風景があります。南相木川の流域には急流が多く七つの滝があります。これらの滝は「七福神の滝」といわれ親しまれています。それぞれ個性的な滝の数々は自然の作りだした芸術です。